

ともかわさきパラアートニュース

第4号 令和2年8月発行

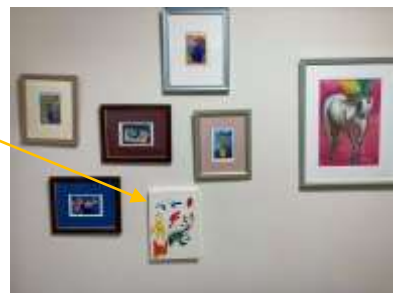
ともかわさきパラアート活動

ともかわさきパラアート振興基金では、「ともかわさきパラアート絵画展inパブリック」へのご賛同と協力をお願いしていますが、多くの皆さんからご賛同をいただき大変ありがとうございます。

<こんな感じなの>

6月に作業療法士・旅行介護士・両立支援コーディネーターの中村若菜様がお持ち帰りされた「生きるもの：井上義男作」はこんな感じに飾られているそうです。

『この絵いいですね』と言われた絵たちに囲まれているのかな。



<高津区地域福祉施設ちどりの会議室はこんな感じ>



「ともかわさき事務局分室」では1階入口に「さかなのさんま：安藤未央作」を、各階の会議室には「女優：安藤未央作」「シーパラダイス：島宗遼太作」「おぼろずき：加藤武之作」をそれぞれ掲示しています。

ちどり3階にある「特定非営利活動法人川崎市障害福祉施設事業協会」様の事務室にも「BUS好き2：青木美佐子作」

第1会議室の展示

を展示していただいています。

<ともかわさきパラアート音楽もアートだ>

ともかわさきのパラアート活動は絵画ばかりではありません。相談交流ひらまでは第1回目の地域交流イベントとして、コンサートを8月15日土曜日の施設開所日に開催しました。

朝からの猛暑の中、地域の方にもお集まりいただき、当日の事業所利用者とともにオカリナ演奏、バイオリン演奏、ギター演奏を楽しんだばかりか、利用者みなさんも合唱を発表して皆さんから拍手喝さいをいただきました。さらに、このコンサートはZOOMを使って配信しました。



これからも地域とともに活動を広げていきたいと思っております。

<ともかわさき事業所のパラアート活動>

2020年も「COLORSかわさき展」が開催され、絵画作品を出展する障害福祉施設を募集しています。ともかわさき事業所では「たちばな」と「どリーむ」が参加を予定しています。

ともかわさきでは昨年度は「たちばな」からA安どう未央さん、堀越保さん、島宗遼太さん、堀井孝真さん、椎森知生さんの5人が作品を出品しています。



絵画が1点足りないのは、売ってしまったからです。事業所で絵を描くことが好きな利用者の楽しさ、思い、躍動など今年もどんな感じの絵画ができてくるのか、ワクワクです。

<COLORSかわさき2020展>

公益財団法人川崎市文化財団が主催する障がいの有無に関わらず作品の魅力を伝える絵画展です。11月11日（水）から21日（土）まで川崎駅前にあるミュージア川崎の企画展示室で開催されます。

<ともかわさきパラアート絵画が停滞中>

新型コロナウイルスのためでしょうか、ともかわさきパラアート振興基金へのパラアート絵画の提供が停滞しております。ともかわさきの事業所利用者の方が描いてくれる絵画なので、こちらの都合の良いようにはなりません。でも、ともかわさきのパラアート活動にご賛同をいただきご支援くださる皆さんのためにも新しい作品が多く誕生してくれるのを願うばかりです。

<パラアート絵画活動 in ひらま>

知的障害者を対象にしたパラアート絵画教室をNPO法人 StudioFLATとの共同事業として9月に開催することが決まりました。

これは、パラアート事業のひとつとしていた「パラアート絵画活動 in ひらま」が実現したことになります。ありがたいです。

9月の3日間、NPO法人 StudioFLAT理事長の大平様を講師に迎えて、参加者の皆さんからどのような成果が出てくるのかこちらもワクワク楽しみです。